

公開審査会の後で聞きました こども審査員からの感想



審査員同士教えあひながら
着眼点を探す様子

周りからのサポートもあり
安心しました。楽しかったです！

色々な考えを聞いて
新たな思考があるとわかった！

緊張したけど
良い経験になりました！

提案グループに聞いたこども審査員への感想

こどもならではの柔軟な発想から来る
質問が面白く、新しい視点をもらえた。

「がんばってください」と言ってもらえ
応援してくれていると感じてうれしかった！

色々な質問が出てきて、自分たちが
気がつかない問題点を教えてもらえた。

応援スタッフも活躍しています

こども審査員とともに、こどもファンドの運営を担っているのが応援スタッフ。
初めての人から、提案する側から応援スタッフになった人まで様々ですが、みんな
こども審査員がスムーズに活動ができるように全力で支えています。

先輩から受け継いだバトンを次の世代に
渡す手助けがしたい。
いろいろな地元愛を見れますよ。

応援スタッフは、研修ではこども審査員に寄り添い、
審査会では司会や進行役として、大活躍でした。

応援スタッフは、中学生以上の方ならどなたでも応募
できます。(未成年者は保護者の同意が必要です)



このリーフレットは、地域ライター部CHIMORIが令和7年度市民協働提案事業担い手育成型採択
事業として制作しました。制作にあたりご協力いただいた皆さまありがとうございました。

なとりこどもファンド こども審査員レター



なとりこどもファンドは、「こんなまちになったら、きっともっと良くなる」そんなアイデアを実現
するために市が必要なお金を助成し、プラン作りや活動を応援する制度です。

そして、その審査にも、こどもの視点を取り入れています。その役割を担っているのが「こども
審査員」です。こども審査員の活動は、応募グループによるまちづくり活動のアイデアに対して助成す
るかどうかを審査することや、活動の報告を受けて賞を選ぶことです。

こども審査員について、なとりこどもファンド事業の発足時からアドバイスをいただいている
卯月盛夫先生（早稲田大学名誉教授）にお話を伺いました。

審査会は応援会です

この事業がはじまった当初は、こども審査員はあくまで提案
された企画を評価し、採択の可否を決めるだけでした。

しかし、事業を何年も続けていくうちに、まちづくりに正解
はないことから、単に可否を決めるのではなく、足りない部分
があればこども審査員から提案に対してアドバイスをすること
で、より良い活動に発展させることこそが、提案したグルー
プ、まち、双方にとって大切であるということ審査員を務め
るこどもたちに伝えたいと思うようになりました。そのため
「応援」ということばを使い、「審査会は応援会です。」と審査
員の研修のはじめに伝えるようにしています。



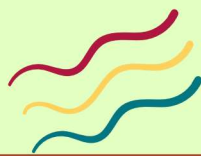
卯月 盛夫

こども審査員もまちづくりの主役

「応援」ということばを使うようになってから、
審査員が審査会の質疑応答では、「こうしたらもっ
と良くなると思う」という、具体的な改善提案やア
ドバイスを付け加えるようになりました。これは、
審査員も主体的にまちづくりに関わっていることだ
と思います。なとりこどもファンドは提案者だけで
なく、こども審査員、応援スタッフ全員が主役とな
りまちづくりを進めていく仕組みです。



しんさいんけんしゅう こども審査員研修



こども審査員は小学4年生から高校3年生（18歳以下）までが応募対象です。応募したこどもたちは、審査方法を学び審査のポイントの研修を受けます。

研修では、大人アドバイザーや市の担当者からこどもファンドについて説明を受け、審査当日の役割分担を決めます。

5W1H*を使って 審査するんだね

*「いつ」「どこで」「誰が・誰に」「何を」「なぜ」「どのように」

こども審査員研修では、審査するときのポイントや公開審査会当日の流れなどの説明を受けます。

応援スタッフも一緒に研修に参加するので、分からないところを質問すると答えてくれました。



事業のあらましを聞く審査員

公開審査会に質問する内容について何を審査のポイントにするかを話し合います。

参加したこども審査員のみんなはメモを取ったり、手を挙げて質問したり、活発な意見を出し合っていました。

みんなで考えた新たな審査のポイントも追加採用されました。



グループで出した意見を発表

グループワークの時間には、審査員同士で提案に対して質問する際にどんな着眼点で行うかを考え合いました。

これまでの先輩たちが考えてきた着眼点に新たな項目を加えるなど、審査員という役割自体も受け継がれ、進化していました。

わからないことは
何でも聞いてね
(応援スタッフ)

どんな質問をしようかな
着眼点を考えている様子



こうかいしんさかい 公開審査会



「公開審査会」での、こども審査員の役割ってなんだろう？

こども審査員には、なとりこどもファンドに応募したグループが、自分たちの思いやアイデアをプレゼンテーションした提案内容に、いろいろな視点から質問や審査をするという役割があります。

自分たちでより良いまちづくりを目指していくという取り組みです。



公開審査会の前の打ち合わせ

公開審査会の前にこども審査員や大人アドバイザーによる打ち合わせがあります。

ここでは、それぞれのグループに質問するポイントの最終確認を行います。真剣な表情のこども審査員たちです。

公開審査会ではこども審査員からのするどい質問が出るなど、会場は自分たちのなとりを良くしていきたいという、こどもたちの熱い思いであふれていました。

こども審査員から提案グループに向けて「応援しています」「頑張ってください」の言葉もありました。

応援します！！
頑張ってください



グループの提案に質問する様子



審査結果の発表

公開審査会の後、こども審査員は別室にてグループごとに審査をします。審査は審査基準やポイントをもとに非公開で厳正に行われます。

その後、緊張した中、審査の結果発表です。

3月には、なとりこどもファンドの事業活動をグループごとに発表する活動発表会が開催されます。こども審査員は、このグループの取り組みの発表の中から3つの賞を決めます。